関西自然保護機構会報12：81－108，1990

自然保護関係文献目録について

関西自然保護機構では，その前身ともいえる日本自然保護協会関西支部が集めた自然保護関係の文献資料を核に，これらを会員に対して情報の提供が可能なデータベースの形で整理し，さらに新しいデータの収集を進め資料の充実をはかろうとしてきた。その際，膨大な資料の中から会員にとって必要な資料を引き出すためには，単に著者，論文名，出典等が一覧表になっているだけでなく，様々な角度からの検索が可能なシステムになっていることが必要である。そこで，パーソナルメディア社の電子カード・アイリスを用いて次のような形でのデータベースシステムを組み立てた。

1．それぞれの文献に索引コードを割り振る。索引コードはトップオーサーと発表年度をもとに組み立てる。並べ変えの便を考え，索引コードにはひらがなをつかう（現実には著者の氏名をどう読むか分からない場合があった）
2．編著者名，発表年，論文名，発表誌名号巻などの記載は通常の学会誌の例に準ずる
　編著者名と発表年を組み合わせて文献コードとする
3．検索事項には次のカテゴリーを設ける
　イ．対象地域（典型）（例えば，淀川，大台が原山，霧が峰など）
　ロ．対象地域（行政）（例えば，大阪府，京都府など。典型地域が大きく，幾つもの行政地域にまたがる場合は全部記録する）
　ハ．対象（論文で何が問題とされているか，例えば植生，森林，地質，動物，ニホンカモシカ，モミなど，なるべく詳細に，キーワード的に記録する）
　ニ．キーワード（ハと重複する点も多いが，特に重要な事項を記録する）
　ホ．内容（その報文が調査記録なのか，自然保護論なのかなど）

（実際に検索を行うときには，いくつかの事項を組み合わせることが可能である）

今回本誌に掲載したのは，主として自然保護協会関西支部が収集した約900件の資料をこのシステムにのっとって整理し，普通の文献リストの形にまとめたものである。このリストには検索事項に関するデータをつけていないが，検索の例として対象地域（行政）を大阪，京都など近畿各府県ごとに絞りこんだもの，典型対象地域「淀川」絞りこんでえられて資料の編著者名，発表年のリストを文献コードとして最後につけ加えた。このリストとさきの文献リストから必要な出典情報をえることができる。現在，試験的に情報の提供サービスを行っているので，検索希望事項があれば佐藤治雄（大阪府立大学農学部，591 堺市百舌鳥梅町４－804）または布谷知夫（大阪市立自然史博物館，546 大阪市東住吉区長居公園１－23）までご連絡いただきたい。

最近の文献資料については十分な収集が行われているとはいえず，今後精力的な資料収集が必要である。とくに外国語の文献の収集には多くの人の目が不可欠のように思われるので，文末の文献基礎カードにのっとった情報の提供につき会員の皆様方のご協力をお願いしたい。

（資料委員会代表　佐　藤　治　雄）

関西自然保護機構業績第86号

関西自然保護機構・自然保護関係文献目録（1960年ごろから1977年頃まで）

編著者 年号(西暦)、 論文名、 発表誌名号巻、ページの順に記載してある
（原著に発行年度の記載がない等の理由により、一部データの欠けている部分もあるが、不完全なまま掲載してある。また発表誌名等の表記法に不統一のところが残っているがお許し願いたい）

IBPJCT国内委員会 1966，わが国の自然保護地域　自然保護に関する文献目録，JCT資料 No 2
ヴァレイ; G. G.（大竹昭郎抄訳），実験科学としての生態学，生物科学 10:85-90
Weeting; A. H.(野島 渉・伊藤嘉昭　訳) 1972，南ベトナムの森林に対する枯葉作戦の生態的影響，生物科学 23:161-168
青木淳一 1970，自然保護について考えること，自然科学と博物館　37:290-295
青峰重範 1967，使用した農薬の行くえ--とくに土壌中の水銀について--，科学 37:651-656
秋元 肇 1972，光化学大気汚染　II　その特徴と化学，科学 42:86-90
秋元 肇 1972，光化学大気汚染　I　その特徴と化学，科学 42:11-19
秋元 宏 1972，自然保護運動と博物館，兵庫県の自然 2(2):12-14
秋元 宏 1974，学校における自然保護教育 2 中等教育 --自然保護教育の目標と現状--，兵庫県の自然 4(2):6-8
朝日 稔 1974，自然保護と教育，兵庫県の自然 4(2):3
朝日 穣 1974，野生生物保護管理の不毛性，第21回日本生態学会大会 野生生物保護管理研究会
朝日 稔 1975，川西の自然環境，兵庫県の自然 5(2):4-5
朝日 稔 1975，近畿地方におけるイノシシ、雄ジカの生息面積とその密度，生物科学 27(2):96-102
朝日 稔・四手井綱英・森　美保子 1975，イノシシおよびシカの捕獲と植生区分--京都府における調査から--，生物科学　27(3):159-168
東 集成 1972，淀川の自然保護について，植物と自然 7(8):22-23
東 幹夫 1977，瀬戸内海における藻場の荒廃過程，瀬戸内海・第3号:18-21
足立 勲 1974，ギフチョウの保護にとりくんで，兵庫県の自然 4(4):21-24
阿部 学 ，森林の多目的利用，自然保護 103:6-7
阿部 学 1951，鳥獣保護: 管理にみる日米較差，自然　　:48-53
阿部敏明 1974，自然保護のための土地買い上げ問題検討会報告書について，国立公園　29:1-6
天野重幸 1975，緑の復元と六甲山，兵庫県の自然 4(4):6-7
新井守義 1970，狩猟事故防止について，鳥獣行政 20:1-5
荒川昌久 1976，林業土木の技術開発を考える --自然と人間との新しい創造をめざして--，暖帯林 360:18-29
飯島伸子 1972，日本災害年表 I，科学 42:100-106
飯村 武 1965，シカの摂食による造林地の被害および被害木の分布，第76回日林　391-392
飯村 武 1965，丹沢山塊のシカに関する調査，林業指導書報告第13号
飯村 武 1967，丹沢山塊のシカと造林地の被害，森林防疫ニュース (7):10-15
飯村 武 1969，日光国営猟区の狩猟　II，鳥獣行政 18:27-33
飯村 武 1969，日光国営猟区の狩猟　I，鳥獣行政 17:4-15
飯村 武 1971，丹沢山塊のシカ、--その生態と保護--，動物と自然 1(4):14-18
池田真次郎 1965，林業試験場における鳥獣に関する試験研究組織とその傾向の概要，鳥獣行政 17:1-4
池ノ上 容 1972，英国における自然公園制度の発展，国立公園 247:10-14

伊沢紘生 1971，下北半島の日本ザル --その保護と現状について--，動物と自然 1(3):4-12
伊沢紘生・今井　・棚橋篤 1970，最北限のサル --除草剤散布後の冬季追跡調査緊急報告II--，
石川 繁 1974，宮城県の自然環境保全，国立公園 293:6-9
石川早雄 1973，大気汚染とくにフッ素ガスとシダとの関係，植物と自然 7(5):16-18
石川早雄 1976，モウソウチクの褐変現象と大気汚染との関係について，植物と自然 10(6):22-26
石神甲子郎 1969，東北地方自然公園学術調査について，自然保護 90-91:22
石神甲子郎 1970，自然保護のすすめ，国立公園 251:2-5
石神甲子郎 1970，保安林を護ろう，自然保護 103:9-10
石城謙吉 1967，北海道のイワナ類とその保護の問題，北海道自然保護協会 会誌 No 3:30-33
磯野直秀 1973，環境問題と生物学者，自然1973.9月号:76-81
磯野直秀・藤原邦達 1972，PCBによる汚染 III 今後の問題点，科学 42:447-456
磯野直秀・藤原邦達 1972，PCBによる汚染 II 生体に対する毒性，科学 42:396-406
磯野直秀・藤原邦達 1972，PCBによる汚染 I 性状・用途・環境汚染，科学 42:312-322
伊丹正博 1977，瀬戸内海沿岸の過去と現在 --高松市周辺の海岸について--，瀬戸内海・第4号:46-49
市岡高校生物部魚班 1971，自然破壊への挑戦 --淀川の淡水漁の研究から--，Nature Study 17(7): 7-11
市川龍資 1970，海洋の放射能汚染，海洋科学 2(9/10):634-639
市田則孝 ，行政監察庁からのアンケートの回答，国立公園 :128-131
伊東誠夫 1972，北海道自然保護条例を考える，自然保護 119:6-8
伊藤護也 1976，瀬戸内海環境保全臨時措置法について，瀬戸内海 創刊号: 4-7
伊藤秀三 1966，アメリカの自然保護 I 自然保護の国策と視点，自然保護 53:6
伊藤秀三 1966，アメリカの自然保護 (最終) 国立公園体系 自然保護教育，自然保護 62:4-5
伊藤秀三 1966，アメリカの自然保護 III 自然保護の思想と政策，自然保護 60:4-5
伊藤秀三 1966，アメリカの自然保護 II 自然の破壊，自然保護 54:6
伊藤秀三 1967，アメリカの自然保護，自然保護 62:4-8
伊藤伝一 1978，われわれの手で海の調査を!1977年度大阪湾の魚類による環境調査報告書，瀬戸内海 第6号:61-64
伊藤嘉昭 1975，南西諸島の害虫 - 最近の問題点 -，科学 45(8):468-476
糸賀黎 1976，保護・保全などの用語について，国立公園 325:18-20
糸賀 1974，自然環境保全地域等の五候補地決まる，国立公園 293:14-16
稲尾豊 1974，学校における自然保護教育 1 初等教育 --自然保護とその教育の課題について--，兵庫県の自然 4(2):4-5
稲見悦治 1971，瀬戸内海の環境破壊，自然保護 113:4-6
犬飼哲夫 1955，哺乳類 (獣類)，応動昆 20(1・2):38-39
犬飼哲夫 1957，北海道動物興亡史 (1)(2)，自然 12(1): 66-73
犬飼哲夫 1957，北海道動物興亡史 (1)(2)，自然 11(12): 20-26
井上重省 1974，姫路の河川の汚染状況，兵庫県の自然 4(2):14-15
井上頼輝 1970，「海洋汚染」の本，海洋科学 2(9/10):656-657
猪坂剛也 1978，大阪府自然環境保全条例と土石採取の現状及び緑化協定について，都市と自然 22:31-36
今井敏信 1972，北海道地方の環境破壊，自然保護 126:2-4
今泉英一 1972，日本の保護すべき哺乳動物について，自然保護 121:9
今関六也 1968，自然保護と生物学，植物と自然 2(9):5-7

今堀宏三 1975，失われた自然は教育の中でも --学校教育と自然史科学教育の危機--，
今堀宏三・宮田宏 1971，出羽島のシラタマモ --形態・生殖・生態・保護--，植物と自然 5(10):7-9
入江春彦 1970，赤潮，海洋科学 2(5):399-405
岩井重久 1970，廃棄物の海洋還元問題，海洋科学 2(9/10):629-633
岩野泰三 1973，追いつめられた房総のニホンザル，アニマ 11:31-35
岩本久美子・小畠裕子 1972，房総の自然を守るために，
宇井純 1966，新潟の水俣病(その原因を追う)，科学 36(8):474-479
宇井純 1967，ふたたび新潟の水俣病について，科学 37:600-601
宇井純 1968，公害の政治学，三省堂新書
宇井純 1970，忘れ得ぬ人々 4，自然保護 101:4-5
宇井純 1970，忘れ得ぬ人々 6，自然保護 103:11-12
宇井純 1970，忘れ得ぬ人々 5，自然保護 102:8-9
宇井純 1970，忘れ得ぬ人々 3，自然保護 100:22-23
宇井純 1970，忘れ得ぬ人々 2，自然保護 99
宇井純 1970，忘れ得ぬ人々 1，自然保護 98:4-5
宇井純 1971，公害原論 I，亜紀書房
宇井純 1971，公害原論 II，亜紀書房
宇井純・清水誠・三宅泰雄・山県登 1968，環境の汚染，科学 38: 636-643
宇井純・清水誠・三宅泰雄・山県登 1968，環境の汚染(廃水の希釈と生体濃縮)，科学 38(12):636-643
上田俊穂 1975，根尾谷水鳥断層の危機 --門外漢による根尾谷断層見物記--，Nature Study 21(11):2-41
植野敏郎 1972，関西の自然をまもるために 4 宅地造成で失われてゆく信太山の自然 - 水生生物を中心として -，Nature Study 18(4):2-4
上原重男 1973，房総丘陵のニホンザルの現状，モンキー 17(1):6-11
植村振作 1977，松枯れは人が起こした --百害あって効果のない農薬空中散布--，都市と自然 13:1-4
浮田忠之進 1966，水銀化合物による中毒と公害，科学 36(8):254-258
浮田忠之進・井村伸正 1971，水銀中毒の実験的追跡 --無機水銀からメチル水銀の生成--，科学 41:586-592
潮編集部 1970，公害対策 --60氏の提言--，潮特別号
宇田道隆 ，IUGG総会シンポジュウムNo.20 海洋汚染のことども，海洋科学 8(1):57-62
宇田道隆 1965，水産海洋学の発展と動向 とくに漁業資源変動と予察の問題，科学 35:83-87
宇田道隆 1974，対話「海洋の環境論」，海洋科学 6(3):151-157
宇田道隆 1976，対話「続・海洋の汚染」，海洋科学 8(12):799-805
宇田川竜男 ，公害による鳥獣の影響，公害と対策 7:35-39
宇田川竜男 1971，ドバトの生態と公害，動物と自然 1(6):7-10
内田清之助 1971，狩猟は廃止すべきか，動物と自然 1(4):2
内田康夫 1972，給餌の是非，私たちの自然 132:12
宇東安方 1974，必ずしも望ましくない「花ゲリラ」，私たちの自然 149:12
宇東安方 1967，クラブ組織に望むもの(3)，私たちの自然 69:4
宇東安方 1967，クラブ組織に望むもの(2)，私たちの自然 67:11
宇東安方 1967，クラブ組織に望むもの(1)，私たちの自然 65:5-6
宇東安方 1967，自然が先か行政が先か，私たちの自然 71:2

宇東安方 1968，鳥獣法の内容，私たちの自然 77:5-6
宇東安方 1969，ある有害鳥獣駆除についての問題，私たちの自然 93:3-5
宇野佐 1971，自然保護と観光開発道路問題をめぐって，国立公園 265:2-8
宇野佐 1974，環境庁移管後の国立行政の歩みと今後の課題，国立公園 300:4-6
梅沢稔 1973，ムジナモ --ほろびゆく自然を追って--，国土と教育 22(4(4)):18
浦口真左 1970，浅間火山の自然保護 --自動車道の問題--，自然保護 97:8-9
江原秀典 1965，外人のみた日本の鳥獣行政，鳥獣行政 1:18
江山正美 1966，自然時代の計画倫理，国立公園 197:1-4
江山正美 1966，自然保護・景観保護・造景 鈴木博士の公開質問に答える，国立公園 204:11-14
江山正美 1970，70年代における自然公園の課題，国立公園 245:2-5
江山正美 1974，自然との対立，国立公園 294:1-4
大井道夫 1971，私のための一枚のチャート 環境問題における自然保護問題の位置付けについての試論，国立公園 258:2-9
大井道夫 1974，自然保護への険しい道，国立公園 291・292:1-6
大石右正 1973，淀川に河川公園をつくる，土木学会誌 1973(1)
大阪営林局 ，大杉谷国有林の自然公園区域内における植物生態からみた保護計画に関する調査報告書,:15 写真付図
大阪営林局 1978，都市近郊国有林における森林施業のありかた,:224
大隅清治 1971，資源としての鯨類とその管理，動物と自然 1(6):19-24
太田邦昌 1977，農薬は害虫を増やす，都市と自然 15/16:5-8
大西美鳥 1972，自然林を守ろう(2)，兵庫県の自然 2(1):6-7
大橋慶三郎 1977，林業と自然保護 --林業者の立場から--，都市と自然 13:9-10
大場秀章 1967，自然・アプリオリ，自然のたより 87
岡田弥一郎 1971，モリアオガエルとその保護，動物と自然 1(4):20-21
岡田康稔 1969，自然保護 --樹木や鳥が姿消すとき危機は人間自身に--，Nature Study 15(6):9-11(85-87)
岡野錦弥 1971，関西の自然をまもるために 1 --猪名川自然公園をめざして--，Nature Study 17(12):2-3
岡野錦弥 1974，猪名川自然林 --保存運動の問題点について--，兵庫県の自然 4(2):16-18
小川厳 1971，スカイラインは自然を破壊する，私たちの自然 119:12
小川厳 1971，SLブーム以後にくるもの，私たちの自然 121:12
小川厳 1973，北海道の自然保護，北方林業 25:25-28
小川厳 1973，北海道の自然保護 VI - ヒグマと自然保護 -，北方林業 25:283-286
小川厳 1974，札幌周辺の鳥を記録する会(仮称)の活動報告と参加の呼びかけ，野鳥だより 17:12
沖縄県教育委員会 1976，ノグチゲラ Sapheopino noguchi (SEEBOHN)実態調査速報 (2)，沖縄県教育委員会 沖縄県天然記念物シリーズ第5集
奥野博美 1972，但馬から自然を奪ったらあとに何が残るか，兵庫県の自然 2:17-
奥野良之助 1973，『生態学の危機』によせて - 伊藤嘉昭氏への反批判 -，自然1973.10月号:78-81
小椋勝 1971，「淀川の淡水漁の研究」によせて，Nature Study 17(7): 12
尾崎幸三郎 1970，昆虫における薬剤抵抗性，生物科学 22:24-31
小野勇一・中園俊之 1971，キツネの生態，動物と自然 1(9):6-9
折田泰宏 1977，海岸地帯の保護のために，瀬戸内海・第4号:38-44

貝塚爽平 1969，変化する地形 地殻変動と海面変化と気候変化の中で，科学 39:11-19
貝塚爽平 1972，日本の自然と自然史科学，科学 40:145-147
科学編集部 1966，特集 安全問題の基礎的立場　災害における加害者と被害者，科学 36(10):
科学編集部 1970，人類のための環境，科学 40:425-431
科学編集部 1972，特集 人体の汚染 病因物質の探索，科学 42(10):
科学技術庁研究調整局 ユネスコ国内委員会事務局 1970，国連の海洋調査研究長期拡大計画包括的概要案(1)，海洋科学 2(6):495-503
科学技術庁研究調整局ユネスコ国内委員会事務局 1970，国連の海洋調査研究長期拡大計画，海洋科学 2(7/8):578-584
鏡岡中学校科学部 1976，続郷土の自然保護を求めて，余呉町自然調査報告書 6
柿崎信兼 1971，鹿久居島の自然を守ろう，動物と自然 1(10):2-4
加崎英男 1971，小笠原諸島の自然，海洋科学 3(5):377-380
風間辰夫 1971，新潟県の鳥獣，動物と自然 1(9):22-28
梶山彦太郎・市原実 1973，大阪平野むかしむかし，国土と教育 18(3(6)):2
梶原武・内田至 1974，海亀の生態と保護，海洋科学 6(5):343-348
春日顕彰会 1975，春日大社境内原生林調査報告 植物・動物，
春日顕彰会 1977，春日大社境内原生林調査報告 微気象・植物・動物，
桂孝次郎 1976，よみがえれ田んぼの生きもの//田んぼに生きる太古の生きもの--カブトエビ--，都市と自然 No.2:3-5
加藤僖重 1971，生態系を破壊する農薬公害，植物と自然 5(1):8-9
金井郁夫 1972，モリアオガエルは珍種か，動物と自然 2(5/6):17-20
金沢純・湯島建・桐谷圭治 1971，殺虫剤による生態系の汚染 II -有機塩素系殺虫剤による環境汚染，科学 41: 384-391
金屋敷忠儀 ，開発と自然保護，: 13-18
金田平 1974，自然指向を悪用する商魂，私たちの自然 147
金田平 1971，鳥獣保護員制度の問題点，私たちの自然 112:11-12
金田平 1972，海岸埋立ての問題点，私たちの自然 125:12
金田平 1973，「白砂青松」造成事業はやめよ，私たちの自然 143:12-13
金田平 1974，日豪渡り鳥協定の締結に当って，私たちの自然 149:12
鏑木外岐雄 1957，わが国哺乳動物保護の問題，国立公園 88:8-9
上坂信行 1971，福井県武生市の野生コウノトリ --その保護と観察の記録--，動物と自然 1(10):5-8
亀山章・井手久登 1772，大台ケ原の植生，応用植物社会学研究 :1-48
亀山章 1973，車道による周辺植生への影響（上），信州大学農学部紀要 10(2):125-146
亀山章 1975，車道による周辺植生への影響( )，信州大学農学部紀要 12(1):1-18
茅野春雄 1971，生物学徒からみたわが国の公害問題，科学 41:18-24
萱村善彦 1978，砕石採取による環境破壊，都市と自然 22:13-20
川瀬光男 1972，狩猟者理論武装のために，全猟 1972 8:65-70
川瀬光男 1972，全国禁猟区構想について，全猟 1972 1:72-78
川那部浩哉 1968，公害問題に一生態学者として思う，科学 38(12):1
川那部浩哉 1968，阿賀野川における「水俣病」について，第2号:95-99
川那部浩哉・小原秀雄 1971，何が<自然の学>か <生態学>的自然像を問う，6:39-
河野通博・他 1978，座談会:よみがえれ!瀬戸内海・瀬戸内保全法制定にむけて“われわれの提言”を語る，瀬戸内海・第6号:4-8
河端俊治 1954，放射能による魚類の汚染，科学 24(12):611-619

川村俊蔵 1970，自然保護と林野行政，自然保護 103:2-3
川村俊蔵・伊谷純一郎・徳田喜三郎 1955，千葉県高宕山地区におけるニホンザルの高宕山ニホンザル総合調査 1-21，千葉県教育委員会
環境庁 1973，鳥獣関係統計13 昭和46年度鳥獣保護及び狩猟に関する法令違反（狩猟期間中），:52-55
木内正敏 1970，自然公園と森林問題，自然保護 100:13-14
木川辰雄 1974，霧ケ峰は泣いている --観光開発阻止闘争の記録--，月刊地域闘争 5(8):30-35
菊池泰二 1972，石油による海洋汚染と生物，生物科学 24:94-101
岸田孝蔵 1974，学校における自然保護教育 3 高等教育 --自然保護と大学--，兵庫県の自然 4(2):8-11
岸田孝蔵 1974，自然の保護と水資源，兵庫県の自然 4(3) 5-8
岸根寛次郎 1971，自然保護について，兵庫県の自然 (1):9-11
北沢右三・斎藤 晋・中村方子 1964，丹沢山魂の動物，丹沢・大山学術調査報告書 225-291
北元敏夫 1976，開拓魂あふれるセイタカアワダチソウ，都市と自然 6:9-10
北森良之介 1970，海洋の底棲動物と水質汚濁，海洋科学 2(9/10):643-648
木原啓吉 1970，欧米の環境問題，自然保護 99:6
木村英造 1972，関西の自然をまもるために 5 淀川河川公園計画を批判する --淀川水系の生物をまもるために--，Nature Study 18(5):2-4 (50-52)
京都府 1973，昭和48年京都府鳥獣行政の概要:32
京都府 1976，昭和51年京都府鳥獣行政の概要:37
京都府公害対策室 1974，京都府の野生動物自然環境保全のための基礎資料，:138
京都理科サークル 1964，日本における生物教育の批判と再建，北京科学シンポジュウム提出論文（日本語訳）
吉良竜夫 ，危機の学としての生態学 -- 環境問題へのアプローチ --，中央公論 :54-67
吉良竜夫 1952，生態学的にみたいわゆる過放牧々野，植物生態学会報 1:209-213
吉良竜夫 1960，自然を汚す罪，毎日新聞(大阪本社)昭和35年9月4日号
吉良竜夫 1962，森林の保護［ Ⅰ～ Ⅲ ］，自然保護 日本自然保護協会 東京 20-22号
吉良竜夫 1962，自然の保護と補修，自然保護 日本自然保護協会 東京 17号
吉良竜夫 1963，原生林の保護の必要とその生態学的意義，日本生態学会誌 13(2): 67-73
吉良竜夫 1968，原生林の保護と管理，国立公園 国立公園協会 東京 228:2-5
吉良竜夫 1970，環境問題と自然保護，やどりが 日本鱗翅学会 大阪 63:33-36
吉良竜夫 1971，生態学からみた自然，河出書房新社 東京 295
吉良竜夫 1972，社寺林の保護，滋賀県の自然保護に関する調査報告(吉良竜夫編) 37-45 滋賀県
吉良竜夫 1973，環境保全と自然保護の論理，生物科学 岩波書店 25(1):16-22
吉良竜夫 1973，社寺林の保護，滋賀県の自然保護に関する調査報告(吉良竜夫編) 37-45 滋賀県
吉良竜夫 1973，都市公害と自然，岩波講座“現代都市政策” 6巻: 31-54
吉良竜夫 1973，観光開発にのぞむ，土木学会誌特集号 “地域社会と土木技術” 日本土木学会編:38-39
吉良竜夫 1974，大阪の自然と自然保護，大阪人 大阪都市協会 28(1):40-44
吉良竜夫 1975，自然と都市環境，グリーン・エイジ（日本緑化センター、東京）昭和50年2月号:12-20
吉良竜夫 1976，自然保護の思想，人文書院 京都 254
吉良竜夫 1976，自然における人間の地位，自然 中央公論社 31(3)26-35
吉良竜夫 1976，自然保護と生活環境，第三文明（第三文明社、東京）182:44-53
吉良竜夫 1976，雑木林の効用，適正現模編(菊池誠編)、185-208 日本放送出版協会・東京

吉良竜夫 1977，自然保護の思想，環境研究（季刊・環境調査センター 東京)16:5-10
桐谷圭治 1971，塩素系殺虫剤の環境汚染，四国植物防疫研究 6: 1-44
桐谷圭治・川原幸夫 ，殺虫剤抵抗性の発達に及ぼす環境要因の影響，植物防疫 24:474-478
桐谷圭治・笹波隆文・井上孝 1969，ツマグロヨコバイのマラソン抵抗性の発現機構に関する研究，高知農林研報 2:39-46
桐谷圭治・湯嶋建・金沢純 1971，殺虫剤による生態系の汚染 I --農業生態学における生物相変化--，
日下部申太郎 1967，自然公園（III）特別保護地区について，自然保護 67:4-5
工藤樹一 1970，間いなおさなければ がまた枯れます，自然保護 99:8
久保田修 1971，ヒサマツミドリシジミと保護，自然保護 111: 10-11
熊田恭一 ，農業環境としての土壌，科学 42:484-491
熊野路編纂委員会編 1975，熊野中辺路 森林と動植物，熊野中辺路刊行会 くまの文庫8:175
熊本信夫 1977，海浜保護と公有水面埋立法，瀬戸内海・第4号14-24
倉品昭二 1976，海洋の油汚染，海洋科学 8(12):830-836
倉本嗣王 1973，筑波山系のシダ植物と自然破壊，植物と自然 7(3):13-17
黒沢孝生 1976，街を緑のふるさとに，都市と自然 3:3-5
黒沢孝生 1977，大阪からシカの姿が消える，都市と自然 18:5-6
黒沢孝生 1977，大阪府の鳥獣保護行政を問う，都市と自然 9:7-10
黒田長久 ，鳥獣保護学（5)，鳥獣行政 38:3-14
黒田長久 1969，琉球諸島冬季の鳥獣行政（調査見聞記)，鳥獣行政 18:2-18
黒田長久 1971，ノグチゲラ，動物と自然 1(7):9-10
黒田長久 1971，鹿久居島のシカと原発建設の問題，動物と自然 1(8):2-3
高知県病害虫防除改善協議会 1969，昭和44年度(1969)改善圃場調査報告(害虫篇)-特に塩素系と有機燐殺虫剤の防除効果と天敵類に与え，186
河野通博 1977，海図に見る瀬戸内海の変遷 その1，瀬戸内海・第4号:54-59
古賀忠道 1970，南アメリカの自然保護，自然保護 96:4-5
国土と教育編集部 1972，琵琶湖の汚染と開発問題をめっぐて，国土と教育 15(3(3)):7
国土と教育編集部 1972，南アルプス --自然破壊の実態をつく 4--，国土と教育 16(3(4)):24
国土と教育編集部 1972，多摩丘陵 --自然破壊の実態をつく 3--，国土と教育 15(3(3)):24
国土と教育編集部 1973，田子の浦 --自然破壊の実態をつく 5--，国土と教育 17(3(5)):24
国土と教育編集部 1974，ああ無残! 南アスーパー林道による原生林破壊の写真，国土と教育 27(5(3)):1
国立公園編集部 1969，国立国定公園--利用者数変化--，国立公園 203:20-31
国立公園編集部 1973，自然保護のさいきんの動き，国立公園 282:26-31
小杉昭光 1971，集団繁殖地におけるサギの生態とその保護，動物と自然 1(5):4-9
小杉昭光 1972，天然記念物「越名のシラコバト」，動物と自然 2(3/4):10-14
児玉政介 1960，国立及び国定公園の本質，国立公園 129:17-21
児玉政介 1967，ナショナルトラスト制度 III，自然保護 84:10-12
児玉政介 1967，ナショナルトラスト制度 II，自然保護 81:5-7
児玉政介 1967，ナショナルトラスト制度 I，自然保護 80:2-4
児玉武彦 1974，特別保護地区めぐり，国立公園 294:22
古林賢恒・丸山直樹・三浦慎悟 1975，南アルプス・大鹿村における自然破壊 --森林の害獣から--，ミチュ-リン生物学研究 11(1):2-15
小林純 1969，イタイイタイ病の原因の追求 III，科学 39: 424-429
小林純 1969，イタイイタイ病の原因の追求 II，科学:369-375

小林純 1969，イタイイタイ病の原因の追求 Ⅰ，科学 39:286-293
小林純 1969，イタイイタイ病の原因の追求 Ⅲ カドミウムをめぐる生物地球化学，科学 39:424-429
小林純 1969，イタイイタイ病の原因の追求 Ⅱ カドミウムをめぐる生物地球化学，科学 39:369-375
小林純 1969，イタイイタイ病の原因の追求 Ⅰ カドミウムをめぐる生物地球化学，科学 39:286-293
小林直正 1970，ウニ授精卵による海水汚濁の判定，海洋科学 2(9/10):649-655
近藤宗平 1970，科学の進歩と人間の未来，科学 40:214-217
御勢久右衛門 1967，澱粉工場廃水が漁別川・渚滑川に、ビート工場廃水が網走川の底生動物におよぼす影響について，日生態会誌 17:137-143
後藤伸 1971，紀ノ川大塔山系の森林，大塔山系
佐々木行夫 1972，国有林の新しい森林施業の方向，自然保護 120:15
佐藤栄 ，生物と環境の相互関係の研究における諸問題 --現代の生物における歴史的方法の再評価について--，科学 36:494-499
実吉達郎 1971，白鳥の保護は始まった，動物と自然 1(4):4-8
実吉達郎 1971，カワウソ物語，動物と自然 1(6):11-14
実吉達郎 1971，受難の海鳥 --鳥島のアホウドリ--，動物と自然 1(7):19-22
実吉達郎 1971，密猟の絶えぬニホンカモシカ，動物と自然 1(3):14-18
実吉達郎 1971，ニホンジカの危機，動物と自然 1(8):13-16
実吉達郎 1971，滅びゆく日本のコウノトリ，動物と自然 1(5):11-15
実吉達郎 1971，絶望的なトキの保護，動物と自然 1(1):2-6
実吉達郎 1971，ツルの保護は成功したか，動物と自然 1(2):8-12
沢田正・大平俊男 1973，植物による大気汚染の調査，植物と自然 7(5):11-15
滋賀県 1972，琵琶湖鳥獣保護区の概要，
滋賀県 1972，滋賀県の自然保護に関する調査報告，滋賀県の自然保護に関する調査報告:66
滋賀県 1972，滋賀県の自然保護に関する調査報告補足資料，川村俊蔵:滋賀県における大型ほ乳類の分布とその保護について:9
滋賀県自然保護財団 1976，滋賀県自然保護基礎調査中間報告書，
自然科学と博物館 1973，自然科学と博物館，自然科学と博物館
自然保護編集部 1972，各県の自然保護条例を比較する，自然保護 119:12-14
四津隆一 1972，東北地方でおきている環境破壊，自然保護 126:4-7
四手井綱英 ，自然保護と林業，自然保護 171:3-5
四手井綱英 1976，林業家の自然観，国立公園325:1-4
四手井綱英 1976，森林生態学と自然保護，植物と自然 10/11:2-5
品田穣 ，自然保護の史的考察(1) --自然保護発生の背景--，植物と自然 3(4/5):28-29
品田穣 1965，無視出来ない野犬の脅威 狙われる野生鳥獣，自然保護 41:7
品田穣 1967，わが国における自然保護制度の現状，植物と自然 1(11):40-41
品田穣 1967，天然記念物保護の歴史，自然保護 63:6-7
品田穣 1968，わが国の自然保護の特質を探る(1) --混乱した定義--，植物と自然 2(12):22-23
品田穣 1968，小笠原諸島の自然にみる人為の干渉，植物と自然 2(7):14-19
品田穣 1968，自然保護のむずかしさ，自然保護 79:2-3
品田穣 1969，わが国の自然保護の特質を探る(2) --分化した自然--，植物と自然 3(1):26-27
品田穣 1969，わが国の自然保護の特質を探る(3) --欠けていた人間尊重--，植物と自然 3(2):30-31

品田穣 1969，自然保護の史的考察(2) --ドイツ自然保護発達史--，植物と自然 3(7):8-11
品田穣 1970，自然保護学(4)，植物と自然 4(5):24-26
品田穣 1970，都市域における自然の必要性と最小必要量の摸索，自然保護 102:10-11
品田穣 1970，自然保護学 (3)，植物と自然 4(3):24-27
品田穣 1970，自然保護学 (2)，植物と自然 4(2):27-28
品田穣 1970，自然保護学 (1)，植物と自然 4(1):23-24
品田穣 1970，自然利用システムの最適化 (6) 生活環境の適応限界，自然保護 98:12-13
柴崎達雄・楡井久 1972，新しい局面をむかえた地盤沈下，国土と教育 12(2(6)):2
柴田敏隆 1972，野生動物保護の方法論，自然保護 121:5-8
柴田敏隆 1960，丹沢のシカ猟延期要請について --その考え方と方法--，神奈川県博物館協会会報 5:1-3
柴田敏隆 1962，丹沢山塊における野生シカの保護について，神奈川県博物館協会会報 9:1-11
柴田敏隆 1965，必ずしも原始境でない自然の保護についての私見，私たちの自然 52:13
柴田敏隆 1968，自然を守るひとびと(1)三浦半島における植物保護の歩み，植物と自然 2(8):20-24
柴田敏隆 1971，河川開発の問題，私たちの自然 115:12
柴田敏隆 1971，ムシヤの心情，昆虫と自然 7(7): 1
柴田敏隆 1972，少年を自然の中に，私たちの自然 130:12
柴田敏隆 1973，自然公園の利用について，私たちの自然 136:12
柴田敏隆 1973，石油危機の次の危機，私たちの自然 145:12
柴田敏隆 1973，共存の場「庭」，私たちの自然 144:12
柴田敏隆 1978，自然保護センターをつくろう，私たちの自然 140:12
柴田敏隆・村瀬信義 1964，丹沢のシカと植生との関係，丹沢・大山学術調査報告書 291-301
柴谷篤弘 1973，伊藤嘉昭氏との対話 --オーストラリアの分子生物学者から--，自然1973.6月号:70-73
渋谷寿夫 1965，自然について --生態学的考察 (1)--，大阪経大論集 49:121-151
島津康男 1972，地球生態システムのモデル，生物科学 23:105-112
島津康男 1977，環境アセスメント，日本放送出版協会 NHKブックス 289:251
清水清 1970，ほろびゆくムジナモ，国土と教育 3:24
清水清 1972，富士スバルライン --自然破壊の実態をつく 2--，国土と教育 14(3(2)):24
清水馨八郎 1978，都市化・観光化と自然の破壊，国立公園 218:6-8
清水武甲 1972，奥秩父原生林 --自然破壊の実態をつく 1--，国土と教育 13(3(1)):24
清水誠 1974，事前評価と事後監視 Smposium:海洋の環境論/4，海洋科学 6(3):162-165
下泉重吉 ，イギリスの自然保護，自然保護 80:6-7
下河辺淳・堀勝洋 1970，新全国総合開発計画と自然の保護，国立公園 246:2-5
小学校自然教材チ-ム 1970，小学校自然教材として要請される自然の確保について，自然保護 101:5-9
環境庁自然保護局鳥獣保護課 1974，昭和49年度鳥獣保護事業各種実施要領(案)，環境庁自然保護局鳥獣保護課:62
植物と自然編集部 1969，植物保護ニュース，植物と自然 3(12):34
白木博次 1964，水俣病（とくにその有機水銀発生説をめぐって)，科学 34(1):8-17
信州大学自然保護ゼミナール 1971，霧ケ峰自然保護 Report No.1，
信州大学自然保護ゼミナール 1972，霧ケ峰自然保護 Report No.2，
新谷鉄郎 1974，昭和50年度自然保護局の予算の要求について，国立公園 300:7-9
新野弘 ，原子力発電所の増加と国定公園，自然保護 93・94:19-20

末広恭雄 1954，魚類におよぼす放射性物質の影響，科学 24(2):619-622
管原健 1974，海洋環境と海洋汚染の研究・監視へのアプローチ，海洋科学 6(3):165-169
管原道夫 1972，淀川からのレポート（1）淀川におけるフナの繁殖集団について，Nature Study 18(8): 9-11
杉浦慶四郎 1970，森林と自然保護，自然保護 103:4-5
杉浦慶四郎 1971，自然公園と森 つねに未来を見つめる国有林の森林施業，国立公園 265:9-13
杉尾伸太郎 1966，国立公園の車道計画について，国立公園 205:5-8
杉原荘介 1965，日本原始時代の解明と自然科学，科学 35:366-370
杉山甫・武居猛 1967，天然力を活用した施業法について（1），北方林業 19:376-379
鈴木晃 1972，房総丘陵のニホンザル，自然 27(10):96-101
鈴木武夫 1960，日本における大気汚染の現状 公衆衛生の立場から，科学 30(2):84-88
鈴木哲 1971，年輪は公害を記録する --スギの年輪からわかるカドミウム公害の歴史--，国土と教育 10(2(4)):7
須磨水族館研究室 1963，須磨水族館における「科学教室」，Rep Suma Aquarium 2:42-46
須磨水族館・資料展示グループ 1958，アンケートによる入館者分析 I 1958年春の展示アンケートの結果，研究報告 36-40
須磨水族館・資料展示グループ 1965，アンケートによる入館者分析 III 入館者によるアカウミガメ重量測定，Rep.Suma.Aquarium 4:54-58
関文威 1976，海洋汚染物質の分解，海洋科学 8(12):824-829
関口晃一 1971，カブトガニの生態と人工増殖，動物と自然 1(7):5-8
瀬戸剛・ 豊原稔 1972，関西の自然をまもるために 2 泉北ニュータウン工事で破壊されようとしている美木多神社のシリブカガシ，Nature Study 18(1): 2-4
瀬戸剛・ 豊原稔 1972，美木多神社のシリブカガシ林のその後，Nature Study 18(2):6
泉南自然保護同好会編・泉南市教育委員会 1976，泉南市の植物，
昭和45年1月17日調査 1970，，
垰田宏 1972，着生蘚苔類指標による東京都の大気汚染地図，日本生態学会誌 22(3):125-133
垰田宏 1974，環境汚染と指標生物，共立出版 科学ブックス 23:170
高井康雄 1971，人類の生存環境としての土壌，科学 41:605-611
高崎裕士 1978，日本民族の精神構造にもかかわる海浜 --高砂における入浜慣行とその採集の意義--，瀬戸内海・第6号:26-29
高島春雄 1953，日本に於ける動物の変遷（その一）I，山階鳥研報 3:87-97
高島春雄 1954，日本に於ける動物の変遷（その一）II，山階鳥研報 4:146-155
高島春雄 1956，滅びゆく日本の動物（1），自然 11（4）: 76-82
高島春雄 1956，滅びゆく日本の動物（2），自然 11(3): 66-72
高野伸二 1963，ガン類の減少を憂う，私たちの自然 15:1-2
高野伸二 1963，鳥の羽毛のかざり，私たちの自然 17:1-2
高橋 1971，金属産業による環境基準，科学 41:551-556
田口圭介 1978，高槻の採石・砕石問題，都市と自然 22:7-12
竹内勲 1972，これからの鳥獣保護 -- 多摩川自然保護運動の側面より --，鳥獣行政 25-27:20-24
竹下信雄 1971，カスミ網密猟の実態，自然 60-64
武田明正・梅林正直・山下善平 1976，森林と道路との間における環境の相互作用に関する研究，三重大環境科学研究紀要NO・1:61-76
多田雄一 1971，公害教育へのとりくみ --四日市市における自然科学教育を中心とする実践から--，国土と教育 9(2(3)):18

田中克巳 1974，社会における自然保護教育 2 成人教育 --自然保護教育をいかに進めるべきか--，兵庫県の自然 4(2):13-
田中正 1971，ミヤコタナゴの生態と保護，動物と自然 1(3)25-27
田辺昇学 1974，都市緑地保全法について，国立公園 290:4-8
谷岡武雄 1971，フランスにおける自然保護，自然保護 113:2-4
谷口博次 1974，社会における自然保護教育 1 青少年教育 --問題の親かいるだけだ--，兵庫県の自然 4(2):11-12
谷口森俊 1965，海藻群落の自然保護，日本生態学会誌 15:251-257
谷村喜代司 1977，河川環境，第一法規:206
田畑貞寿 ，富士南麓の自然環境保全と土地利用，国立公園 294:5-8
田端英雄 1963，林業と生態学，北方林業 15
田村剛 1929，国立公園の事業と経済問題，国立公園 1 1:17-19
第14回国際鳥類保護会議決議 1966，，鳥獣行政 7:24-25
大雪の自然を守る会 1971，大雪山縦貫道路建設を阻止しよう，植物と自然 5(11):35
千羽晋示 ，鳥獣の道路の問題，鳥獣行政 38:23-28
千葉県教育委員会 1972，天然記念物高岩山のサル生息地におけるサル等・緊急報告書，
中央公害対策審議会企画部会 ，環境保全長期ビジョン中間報告(要旨)，公害と対策 9:57-64
鳥獣行政編集部 ，鳥獣行政総目録 第1/2巻 --昭和40/41年度--，
鳥獣行政編集部 ，鳥獣行政総目録 第7巻 --昭和46年度--，
鳥獣行政編集部 ，鳥獣行政総目録 第6巻 --昭和45年度--，
鳥獣行政編集部 ，鳥獣行政総目録 第5巻 --昭和44年度--，
鳥獣行政編集部 ，鳥獣行政総目録 第4巻 --昭和43年度--，
鳥獣行政編集部 ，鳥獣行政総目録 第8/9巻 --昭和47/48年度--，
鳥獣行政編集部 1969，猟区一覧表 昭和43年11月1日82ケ所，鳥獣行政 16:表紙
鳥獣行政編集部 1969，昭和43年度猟政関係歳出予算（都道府県），鳥獣行政 19:30-31
鳥獣行政編集部 1974，渡り鳥及び絶滅のおそれのある鳥類並びにその環境の保護に関する日本政府とオ-ストラリア政府との間の協定，鳥獣行政 35/36:4-5
鳥獣行政編集部 1974，渡り鳥及び絶滅のおそれのある鳥類並びにその生息環境の保護に関する日本国政府とソヴィエト社会主義共和国，鳥獣行政 34:13-15
鳥獣行政猟政班 1969，飼養鳥獣の取り締まりの結果，鳥獣行政 16:16-17
鳥獣行政研究会徳島支部長 1966，イノシシの放獣，鳥獣行政 6:10-11
柘植達雄 1974，中信高原の開発と破壊の実態 -- 霧ケ峰と美ケ原 --，信州哺乳類研究会
辻田時美 1974，環境問題と海洋の汚染 生態学--序説--，海洋科学 6(3):170-174
津田松苗 1972，水質汚濁の生態学，公害対策技術同友会
土田勝義 1973，美ケ原高原の草原植生，自然生態学会誌 23:33-43
土田勝義・加藤久雄・中谷易功・山口二郎 1975，霧ケ峰高原におけるヒメジョオン類の生態 (1)，長野県植物研究会誌 8:52-66
土屋健三郎 1971，鉛の健康への影響，科学 41:575-580
筒井嘉隆 1971，大阪南港の野鳥とその保護，動物と自然 1(3):21-24
筒井嘉隆 1973，淀川の自然を守ろう，植物と自然 7(4):31
筒井嘉隆 1973，淀川の自然環境とその保護，芦屋大学創立10周年記念論文集:209-236
筒井嘉隆 1975，淀川の自然を守ろう，大阪春秋第 6 号:44-50
敦賀花人 1971，「海洋汚濁が生物資源と漁業に及ぼす影響に関するFAO技術会議」，海洋科学 3 (2):130-138
手塚泰彦 1972，環境汚染と生物 I，生態学講座 2 巻 共立出版

東京農工大学農学部自然保護学研究室 1972，大山・丹沢自然公園のシカの保護管理に関する調査報告書，
徳井利信 1966，北海道において保護すべき陸水，日本生態学会誌 16:217-218
徳田御稔・田端英雄 1970，生態学の生態（下），朝日ジャーナル 10月号:85-89
徳田御稔・田端英雄 1970，生態学の生態(上)，朝日ジャーナル 9月号:37-41
栃本武良 1973，干潟の動物，動物と自然 3(4):4-7
友田安雄 1969，米国国立野生生物保護区制度について，鳥獣行政 19:23-24
友田安雄 1970，1969年度の遊魚・野生生物計画（1），鳥獣行政 20:31-33
友田安雄 1973，絶滅のおそれのある野生動植物の国際取引に関する条約採択会議について 動物委員会を中心として，鳥獣行政 33:2-9
友田安雄 1973，絶滅のおそれのある野生動植物の国際取引に関する条約採択会議報告，国立公園 282:15-19
友田安雄 1973，鳥獣保護行政の最近の動向，国立公園 289:7-9
豊原稔 1972，関西の自然をまもるために 3 団地造成で荒廃化がすすむ高倉寺の社寺林，Nature Study 18(3): 2-4 26-28
土井林学振興会・緑地研究会 1974，社寺林の研究 1（奈良・大阪・和歌山・石川），森林 第1号
土井林学振興回・緑地研究会 1977，社寺林の研究 7（山形・京都・大分），森林 第7号
中尾淳三 1976，住民の立場から自然保護と林道を考える，兵庫県の自然 6(1):6-7
中島重生 1969，鳥獣保護及び狩猟に関する法律についての一考察，鳥獣行政 6:1-4
中島秀雄 1976，但馬の山地開発と自然保護，兵庫県の自然 6(1):4-5
中西悟堂 1972，狩猟の一大転期，野鳥 37:178-786
中西哲 1969，音水(おんずい)渓谷の森林保護について，自然保護 83:4-5
中村登流 1973，Ⅳ鳥獣の世界から，信州大学教養自然保護講座編 自然保護を考える 95-113 共立出版
長野営林局 1967，高山植物の被害ふえる，植物と自然 1(5/6):26
長野県勤労者山岳連盟編 1972，原生林大Ⅱ号 自然保護特集，長野県勤労者山岳連盟機関紙局
那波昭義 1971，天然記念物に指定されたツシマヤマネコ，動物と自然 1(7):11-12
新村捷介 1976，今、大阪の水は --消えゆく大阪のトンボ--，都市と自然 4:3-5
西川栄一 1976，環境アセスメントについて，瀬戸内海 創刊号:8-10
西河幸雄 1976，池の環境と生きものたち，都市と自然 4:9-10
西村忠行 1976，瀬戸内海保全を全国民の運動で，瀬戸内海 創刊号:15-17
西村登 1976，川の汚染と生物たち --県下の川とくに円山川の汚染を中心に--，兵庫県の自然 6(1):8-10
西村肇 1972，瀬戸内海の汚染Ⅰ 海水の濁りⅢ，科学 42:622-629
西村肇 1972，瀬戸内海の汚染Ⅰ 漁獲量の推移と海底の汚染Ⅰ，科学 42:470-476
西村肇 1976，底泥の有機物汚染，海洋科学 8(12):813-819
西村正昭 1974，河川の水質汚濁と水中の生物との関係 --猪名川と武庫川--，兵庫県の自然 4(3):8-11
西脇昌治 1974，資源生物論，海洋学 東京大学出版会
日弁連人権大会公害シンポジュウム実行委員会 1977，海岸地帯保全法試案要綱，瀬戸内海・第5号:90-96
日弁連人権大会公害シンポジュウム実行委員会 1977，瀬戸内海環境保全法試案要綱，瀬戸内海・第5号:97-105
日光の自然を守る会 1971，日光の自然とその保護，植物と自然 5(3.4):10-12
新田忠雄 1970，対話「海洋の汚染」，海洋科学 2(9/10):621-628

日本自然保護協会，大山隠岐国立公園「三瓶の自然」，自然ガイドブックシリーズ 日本自然保護協会
日本自然保護協会，世界の国立公園および自然保護の現状，調査報告第0号 日本自然保護協会
日本自然保護協会，若狭湾国定公園に対する原子力発電所に関する調査報告，調査報告第47号 日本自然保護協会
日本自然保護協会，南三陸海岸自然公園学術調査報告，調査報告第46号 日本自然保護協会
日本自然保護協会，大山隠岐国立公園大山地区学術調査報告，調査報告第45号 日本自然保護協会
日本自然保護協会，男鹿半島自然公園学術調査報告，調査報告第44号 日本自然保護協会
日本自然保護協会，清津川ダム計画に関する学術調査報告，調査報告第43号 日本自然保護協会
日本自然保護協会，和泉葛城山系自然公園学術調査報告，調査報告第39号 日本自然保護協会
日本自然保護協会，乗鞍岳学術調査報告，調査報告第36号 日本自然保護協会
日本自然保護協会，栗駒自然公園学術調査報告，調査報告第25号 日本自然保護協会
日本自然保護協会，海中公園の設定に関する研究，調査報告第23号 日本自然保護協会
日本自然保護協会，大町事業区扇沢針木周辺の観光資源およびその保護開発に関する調査報告，調査報告第11号 日本自然保護協会
日本自然保護協会，南アルプス塩見岳・荒川岳・赤石岳付近の学術調査報告，調査報告第4号 日本自然保護協会
日本自然保護協会，支笏洞爺国立公園「洞爺の自然」，自然ガイドブックシリーズ 日本自然保護協会
日本自然保護協会，足摺宇和海国立公園「足摺の自然」，自然ガイドブックシリーズ 日本自然保護協会
日本自然保護協会，知床国立公園「知床の自然」，自然ガイドブックシリーズ 日本自然保護協会
日本自然保護協会，大山隠岐国立公園「三瓶の自然」，自然ガイドブックシリーズ 日本自然保護協会
日本自然保護協会，白山国立公園「白山の自然観察」，自然ガイドブックシリーズ 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1962，白山国定公園の生態学的研究(英文)(和文)，調査報告第1号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1963，祖母山原生林地域の生態学的調査 中間報告(I)，調査奉告第6号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1963，鳥海山国定公園候補地学術調査報告，調査報告第5号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1963，青森県景観資源調査報告，調査報告第9号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1963，大雪火山群の研究，調査報告第8号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1963，山陰海岸国立公園候補地学術調査報告，調査報告第7号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1964，吉野熊野国立公園大台ヶ原山・大峰山脈，調査報告第10号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1965，自然公園における自然保護問題，調査報告第12号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1965，足摺国定公園宇和海海中公園調査報告，調査報告第13号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1965，黒部・立山地区の観光資源およびその保護開発に関する調査報告，調査報告第15号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1965，下北半島学術調査報告，調査報告第18号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1965，壱岐・対馬自然公園学術調査報告，調査報告第19号 日本自然保護協会

日本自然保護協会 1965，三重県熊野市二木島湾海中公園調査報告，調査報告第20号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1965，天草海中公園調査報告，調査報告第22号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1965，能登半島海中公園調査報告，調査報告第21号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1965，若狭湾国定公園学術調査報告，調査報告第16号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1965，三河湾海中公園調査報告，調査報告第17号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1965，高知県竜串・沖ノ島周辺海中公園調査報告，調査報告第14号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1966，和歌山県自然景観地調査報告，調査報告第28号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1966，和歌山県海中公園学術調査報告，調査報告第27号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1966，越前海岸自然公園学術調査報告，調査報告第26号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1966，筑波自然公園学術調査報告書，調査報告第24号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1967，会津駒ヶ岳、田代山、帝釈山自然公園学術調査報告，調査報告第29号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1967，宮崎県海中公園学術調査報告，調査報告第30号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1967，氷ノ山、後山、那岐山国定公園候補地学術調査報告，調査報告第32号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1968，越後三山、奥只見自然公園学術調査報告，調査報告第34号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1968，加賀海岸国定公園候補地学術調査報告，調査報告第33号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1968，伊勢志摩国立公園計画再検討並びに学術調査報告，調査報告第31号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1969，自然公園区域内における騒音および湖沼保護の規則に関する研究，調査報告第35号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1970，明治の森 高尾国定公園「森林への招待」，自然ガイドブックシリーズ 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1970，津軽半島岩木山自然公園学術調査報告，調査報告第37号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1970，原始憲章，資料集 1 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1971，西武蔵自然公園学術調査報告，調査奉告第41号日本自然保護協会
日本自然保護協会 1971，阿蘇国立公園長者原地区「自然への招待」，自然ガイドブックシリーズ 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1971，日光国立公園沼原揚水発電計画に関する調査報告書，調査報告第38号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1971，熊野枯木灘自然公園学術調査報告，調査報告第40号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1971，西武蔵自然公園学術調査報告，調査報告第41号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1972，大山隠岐国立公園「ひるぜんの自然」，自然ガイドブックシリーズ 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1972，自然保護憲章案・研究資料集，資料集 2 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1973，自然保護に関する陳情・意見書集--自然保護協会発議による--，資料集 5 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1973，自然保護関係文集，資料集 3 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1974，自然かんさつ学入門，自然ガイドブックシリーズ 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1974，第 2 回自然保護講座実施報告書，資料集 6 日本自然保護協会

日本自然保護協会 1974，十和田八幡平国立公園葛根田地熱発電所計画に関する調査報告，調査報告第48号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1974，十和田八幡平国立公園後生掛地区地熱発電所計画に伴う学術調査報告，調査報告第42号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1975，自然保護セミナー報告書 --自然保護教育・その実践の道を求めて--，資料集 8 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1975，第 3 回自然保護講座実施報告書(自然保護行政をいかに進めるか)，資料集 7 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1975，道路建設に伴う森林伐採の生態系に与える影響に関する研究，調査報告第51号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1975，奥清津ダム学術調査報告，調査報告第50号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1975，奥三面ダム建設計画に関する調査報告，調査報告第49号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1976，摩周屈斜路の自然観察，自然ガイドブックシリーズ 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1976，日光国立公園「尾瀬の自然観察」，自然ガイドブックシリーズ 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1976，第 4 回自然保護講座実施報告書 学校における自然保護教育，資料集 11 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1976，野生鳥獣の餌付けを考える 餌付けから環境保護へ，資料集 10 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1976，自然保護セミナー報告書 自然保護をいかに進めるか--指導員のための手引--，資料集 9 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1976，道路建設に伴う森林伐採の生態系に与える影響に関する研究，調査報告第52号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1977，草はらのかんさつ，自然ガイドブックシリーズ 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1977，川の自然かんさつ，自然ガイドブックシリーズ 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1977，和歌山県田辺市南部海岸県立公園「天神崎の自然観察」，自然ガイドブックシリーズ 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1977，伊勢志摩国立公園「伊勢志摩の自然観察」，自然ガイドブックシリーズ 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1977，吉野熊野国立公園「大台ヶ原山の自然観察」，自然ガイドブックシリーズ 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1977，岡山系津川ダム計画に関する環境調査報告書，調査報告第52号 日本自然保護協会
日本自然保護協会 1979，石鎚国定公園石鎚山・面河地区自然環境保全調査報告書，調査奉告第58号 日本自然保護協会
日本自然保護協会関西支部 1974，吉野熊野国立公園学術調査報告，資料No.5 日本自然保護協会関西支部
日本生態学会環境問題専門委員会編 1975，環境と生物指標 1 陸上編，共立出版 pp291
日本生態学会環境問題専門委員会編 1975，環境と生物指標 2 水界編，共立出版 pp310
日本生物教育学会 1970，自然保護教育に関する決議文，植物と自然 4(10):5
日本生物教育研究会 1970，奥日光の自然保護に関する決議文，植物と自然 4(10):22
沼田眞 1954，応用生態学のありかた，生物科学 6:188-190
沼田眞 1955，環境と生活(問題の展望)，生物科学シンポジュウム(1955)特集号生体と環境との相互連関:60-62

沼田眞 1955，生態学における環境観とその評価，科学 37:74-80
沼田眞 1966，タイの自然保護，自然保護 51:6
沼田眞 1968，自然保護の本質，自然保護 71:2
沼田眞 1968，国立公園における自然保護，国立公園 219・220:8-9
沼田眞 1969，ミクロネシアの植生 --太平洋諸島の自然保護(II)その2--，植物と自然 3(8):21-23
沼田眞 1969，ミクロネシアの植生 --太平洋諸島の自然保護(II)その1--，植物と自然 3(7):18-21
沼田眞 1969，太平洋諸島の自然保護(I)，植物と自然3(3):24-28
沼田眞 1971，ヨ-ロッパ自然保護年にちなんで -- 紀行と感想 --，生物科学 22:88-93
沼田眞 1974，昭和48年度天然記念物高宕山のサル生息地総合調査報告書，千葉県教育委員会
沼田眞・吉岡邦二・加藤陸奥雄 1968，自然保護の生態学的諸問題 --I・B・P・CTの活動と関連して--，生物科学 20:34-42
根本順吉 1970，気候変動と新しい原因論，国土と教育 2:18
根本順吉 1972，地球の汚染と気候変動，国土と教育 16(3(4)):18
根本順吉 1972，海洋の油汚染 --その実態と問題点を追って 2--，国土と教育 13(3(1)):8
根本順吉 1972，海洋の油汚染 --その実態と問題点を追って 1--，国土と教育 12(2(6)):8
根本順吉 1972，人口と環境論争 --コモナーとエーリッヒの対立に寄せて--，自然 1972 .10月号:106-110
羽賀克己 1971，自然保護行政の矛盾，自然保護 112:11-12
蓮尾嘉彪 1963，沼沢地や干潟を遺そう，私たちの自然 24:11
蓮尾嘉彪 1964，禁鳥飼育をなくそう，私たちの自然 37:1-2
蓮尾嘉彪 1965，ガン類の保護をのぞむ，私たちの自然 39:2-3
蓮尾嘉彪 1965，禁鳥の剥製をなくそう，私たちの自然 40:13
蓮尾嘉彪 1965，野鳥救護センターの設置をのぞむ，私たちの自然 44:13
蓮尾嘉彪 1966，野鳥観察に役立つ図鑑を，私たちの自然 56:13
蓮尾嘉彪 1968，カスミ網による密猟について，私たちの自然 75:2-3
蓮尾嘉彪 1968，カスミ網猟の発見法，私たちの自然 77:2-4
蓮尾嘉彪 1969，ウソとサクラの問題，私たちの自然 89:2-3
蓮尾嘉彪 1969，ホタルやカエルを放つのわ慎重に，私たちの自然 93:2
蓮尾嘉彪 1969，まだ行われているカスミ網による密猟，私たちの自然 95:2-4
蓮尾嘉彪 1970，カスミ網猟をなくそう，私たちの自然 100:4-5
蓮尾嘉彪 1968，鳥類標識について，鳥獣行政 13:13-18
長谷川太一 1975，川西市の自然をみる --アンケート調査より--，兵庫県の自然 5(2):4-10
蜂谷剛 1972，尾瀬の保護と復元(2)，植物と自然 6(2): 10-14
蜂谷剛 1972，尾瀬の保護と復元(1)，植物と自然 6(1):10-14
蜂谷剛 1972，尾瀬の保護と復元()生態系を破壊する農薬公害，植物と自然 5(1):8-9
花井正光 1974，大型哺乳類の補語管理について，第21回日本生態学会大会 野生生物保護管理研究会
花岡千鶴子・鷹取健 1976，生きた教育をもとめて子どもたちと学んだ自然，国土と教育 37(6(7)):12
花輪伸一 1976，自然公園のマイカー規制 --その効果と問題点--，自然保護 175:10-12
浜口哲一 1971，鳥獣保護センターの設置について，私たちの自然 120:12
浜口哲一 1972，自然休養林にのぞむ，私たちの自然 128:12
浜口哲一 1972，「見せられる自然」から「見る」自然へ，私たちの自然 131:12

林武雄 1973，福井県若狭地方(三方五湖)におけるワシ類の越冬地保護問題について（報告），鳥獣行政 31・32:56
林久人 1973，地下の酸素欠乏はどうしておこるか --新しい都市災害をめぐって--，国土と教育 17(3(5)):18
原田直俊 1978，よみがえるか千里の自然，都市と自然 23:3-4
原田正純 1971，潜在性水俣病 -- 病気の全貌はまだ明かにされていない --，科学 41:250-258
原田睦男 1978，安威川上流の採石場と竜仙峡の荒廃，都市と自然 22:5-6
日浦勇 1976，れんげ畑へ行こう，都市と自然 1:3-6
日浦勇 1977，スミチオンの空中散布による小型動物の被害 --奈良県二上山の場合-- その1，Nature Study 23(8): 2-4
日高孝次 1970，海況の改善，海洋科学 2(4):356-358
兵庫県自然保護協会 ，東中国山地自然環境調査報告，
兵庫県自然保護協会調査部 1972，都市緑地と気温分布 --東灘区における緑地による夏の気温低減効果--，兵庫県の自然 2(2):2-7
兵庫県自然保護協会 1972，扇ノ山周辺の動物( )，兵庫県自然保護協会調査資料第 1 集:48
兵庫県自然保護協会調査部 1973，兵庫県下のホタルの現況，兵庫県の自然 3(1):2-8
兵庫県自然保護協会調査部 1974，せ骨のまがった淡水魚の分布，兵庫県の自然 3(2/3):2-5
兵庫県自然保護協会調査部 1972，第一回自然破壊度調査の報告 --ひどい阪神地域の破壊--，兵庫県の自然 (2):2-14
兵庫県農林部治山課 1976，広域期間林道予定地域自然環境調査報告書，
平井源一 1975，猪名川流域における自然植生の地域間差について，兵庫県の自然 5(2):10-12
平岡誠志・渡辺弘之・寺崎康正 1977，糞粒数によるノウサギ生息密度の推定，日本林学会誌 59(6):200-206
枚方の自然を楽しむ会 1973，淀川河川敷の植生について --枚方市磯島付近での改変を見る--，Nature Study 19(8):2-5(86-89)
平野敏行 1974，海洋汚染研究をはじめる 二・三の問題，海洋科学 6(3):175-177
広末実 1972，危機にある狩猟の課題，全猟 1972 2:76-78
広末実 1972，狩猟非難の日本的特異性について，全猟 1972 3:106-108
びわ湖バレイ 1977，びわ湖バレイ自然環境調査報告書，
福井県 1976，福井県自然環境保全基礎調査報告書,:293
福島正三 ，圃場における昆虫群集の研究 薬剤散布の回数とリンゴ園における昆虫群集の構造，
福島要一 1964，農薬問題をいかに受けとめるか，科学 34(8):436-439
福島要一 1971，農業と自然保護，自然保護 112:4-5
福永一夫 1965，農薬の残留問題 とくに米の残留水銀を中心として，科学 35(12):668-672
藤則雄 1974，花粉分析からみた琵琶湖のおいたち，国土と教育 25(5(1)):18
藤岡義隆 1977，海の汚染と海に住む生物 --呉市沿岸の浅海動物の17年間の調査結果の概要から--，瀬戸内海・第4号:72-88
藤谷超 1970，農薬による海洋の汚染，海洋科学 2(9/10):640-642
藤縄幸雄 1974，環境問題 --私の想い--Smposium:海洋の環境論/8，海洋科学 6(3):178-180
藤縄幸雄 1976，事前・事後調査とモニタリングSymposium:続・海洋の汚染/7，海洋科学 8(12):837-842
古川四郎 ，国営猟区の入猟状況，鳥獣行政 24:15-16
古林賢恒 1976，森林施業と野生獣類害の問題，野ねずみ 133:19-23
不破敬一郎 1971，生体体中のカドミウム，科学 41:569-574
北大ヒグマ研究グループ 1971，大雪山のヒグマ，動物と自然 1(4):9-13

細見彬文 1977，埋立の影響 2.3の 問題，瀬戸内海・第3号:22-27
堀田満 1976，いれかわったタンポポ，都市と自然 1:6-8
堀内盛一 1970，村里に出没する熊，鳥獣行政 23:7
房総の自然研究会 1972，房総丘陵清澄山・高宕山地区の自然とその人による影響，文部省特定研究 昭和46年度調査報告書
房総の自然研究会 1973，房総丘陵清澄山・高宕山地区の自然とその人による影響 第II報，東京大学農学部付属演習林
房総の自然研究会 1974，房総丘陵清澄山・高宕山地区の自然とその人による影響 第III報，東京大学農学部付属演習林
前川道夫 1971，化学工業における金属の問題，科学 41:545-550
牧野修司・沢田正之・阿野裕美 1977，箕面谷ニホンザルの生活と保護，都市と自然 9:2-6
眞下弘 1970，南港埋立地の野鳥保護，Nature Study 16(1): 2-3
桝井昭夫 1967，低地性高層湿原の植物生態 -- 深泥池60年間の遷移 --，植物と自然 1(7):5-9
桝井昭夫 1969，低地性高層湿原の植物生態 --深泥池浮島の植物社会--，植物と自然 3(10):22-25
桝井昭夫 1969，低地性高層湿原の植物生態 --深泥池浮島の生態--，植物と自然 3(45):25-27
町塚道夫 1972，猪名川の自然を守ろう(1)，兵庫県の自然 2(1):5-6
松井孝爾・柴田敏隆 1964，丹沢の爬虫・両生類，丹沢・大山学術調査報告書 355-358 神奈川県
松田道生 1973，干潟の保全をのぞむ，私たちの自然 142:12
松田道雄 1975，滅びゆく日本の野鳥，青と緑 4(2): 42-59
松中昭一 1975，指標生物，講談社サイエンティフィック 182
眞砂久哉 1970，和歌山県大塔黒蔵谷国有林の保護要望，植物と自然 4(10):5
眞砂久哉 1971，紀州・大塔山系の植物分布の特異性，植物と自然 5(3.4):28
丸田頼一 1972，国土の保全と観光レクリエーション開発，自然保護 120:12-14
丸山直樹 1974，丹沢山塊のシカ，哺乳類科学 28・29:22-28
丸山直樹 1974，シカの保護管理の問題例--裏男体有料道路の建設計画の場合--，第21回日本生態学会大会 野生生物保護管理研究会
丸山直樹・飯村武・山岸清隆 1971，自然保護についての一分析例，生物科学 22(3):135-149
丸山直樹・常田邦彦・遠竹行俊・岡村良一 1974，裏甲体有料道路がシカ・サルの生態におよぼす影響，大自然 2:7-50
三浦慎吾・朝日稔・赤坂猛・恩地実 1975，台高山脈・父ケ谷における哺乳動物相の現状，宮川揚水発電計画に伴う父ケ谷地域自然環境調査報告書:161-170
三浦半島自然保護の会 1959，図鑑に思う，自然のたより 8
三浦半島自然保護の会 1959，狩猟法を守ろう，自然のたより 7
三浦半島自然保護の会 1959，観光開発の問題点，自然のたより 6
三浦半島自然保護の会 1959，害虫駆除の問題点，自然のたより 5:2
三浦半島自然保護の会 1959，夏休みの宿題について，自然のたより 3
三浦半島自然保護の会 1959，採集論，自然のたより 2
三浦半島自然保護の会 1959，この新聞を発刊するに当って，自然のたより 1
三浦半島自然保護の会 1960，野外観察の基本理念 --先生方の野外観察指導のために--，自然のたより 20
三浦半島自然保護の会 1960，自然観察の方法について，自然のたより 19
三浦半島自然保護の会 1960，「丹沢のシカ猟解禁」を延期せよ，自然のたより 18
三浦半島自然保護の会 1960，スズメの害益について，自然のたより 17

三浦半島自然保護の会 1960，夏休みを迎えるに当って，自然のたより 15
三浦半島自然保護の会 1960，蛇をいじめる人に，自然のたより 14
三浦半島自然保護の会 1960，愛鳥週間によせて，自然のたより
三浦半島自然保護の会 1960，自然公園設定の意義について，自然のたより
三浦半島自然保護の会 1960，サクラの名所を護ろう，自然のたより 10
三浦半島自然保護の会 1961，狩猟法を鳥獣保護法に，自然のたより 31/32合併号
三浦半島自然保護の会 1961，城ケ島に原始の景観を残せ，自然のたより 30
三浦半島自然保護の会 1961，昆沙門海岸の景観を保存せよ，自然のたより 29
三浦半島自然保護の会 1961，宅地造成の問題点，自然のたより 28
三浦半島自然保護の会 1961，キャンプのあり方について，自然のたより 27
三浦半島自然保護の会 1961，カエルの解剖について，自然のたより 26
三浦半島自然保護の会 1961，愛鳥週間に当って，自然のたより 25
三浦半島自然保護の会 1961，復元ということ，自然のたより 24
三浦半島自然保護の会 1961，レクリェーションと殺生，自然のたより 23
三浦半島自然保護の会 1961，科学教育振興と生命教育，自然のたより 22
三浦半島自然保護の会 1961，二つの指定に思う --ウミウ・クロサギの県天然記念物指定(城ケ島)、シカ猟解禁10年延期，自然のたより 21
三浦半島自然保護の会 1962，警察官の狩猟取り締り体制を強化せよ，自然のたより 42
三浦半島自然保護の会 1962，平潟湾埋立に思う，自然のたより 41
三浦半島自然保護の会 1962，山小屋の燃料，自然のたより 39
三浦半島自然保護の会 1962，東京の水キキンの教えるもの，自然のたより 37
三浦半島自然保護の会 1962，山小屋建設及び運営に希望する，自然のたより 36
三浦半島自然保護の会 1962，空気銃対策への一試案，自然のたより 35
三浦半島自然保護の会 1962，森繁さんへ --三浦半島天神島南岸のうめたてによるヨットハーバー建設について--，自然のたより 34
三浦半島自然保護の会 1962，イワシャコ放鳥への疑問，自然のたより 33
三浦半島自然保護の会 1963，城ケ島のネズミ駆除に --殺鼠剤を使わずイタチを放せ--，自然のたより 50
三浦半島自然保護の会 1963，総合開発計画を立てよう，自然のたより 49
三浦半島自然保護の会 1963，葉山・芝崎・真名瀬埋立て問題の経緯，自然のたより 48
三浦半島自然保護の会 1963，原始的自然の意味，自然のたより 47
三浦半島自然保護の会 1963，極くふつうの風物こそ貴重なもの，自然のたより 46
三浦半島自然保護の会 1963，天神島の自然を遺そう，自然のたより 45
三浦半島自然保護の会 1963，トウキョウサンショウウオを救おう，自然のたより 43
三浦半島自然保護の会 1963，芝崎海岸の埋立てに反対する，自然のたより 44
三浦半島自然保護の会 1964，実習材料について，自然のたより 59
三浦半島自然保護の会 1964，恐るべき農薬，自然のたより 58
三浦半島自然保護の会 1964，生物教育関係者に望む，自然のたより 56
三浦半島自然保護の会 1964，小松ケ池をアナス・バンクに --アナス・バンク:鴨銀行--，自然のたより 55
三浦半島自然保護の会 1964，飛っ子の捕獲を取締れ --飛っ子:野鳥のヒナ--，自然のたより 54
三浦半島自然保護の会 1964，'Nature conservation'ということ その2，自然のたより 53
三浦半島自然保護の会 1964，'Nature conservation'ということ その1，自然のたより 52
三浦半島自然保護の会 1965，自然が先か行政が先か，自然のたより 73

三浦半島自然保護の会 1965，自然保護を口さきだけでかたずけないで，自然のたより 70
三浦半島自然保護の会 1965，丹沢の原生林の危機，自然のたより 69
三浦半島自然保護の会 1965，自然を保護するにあったて，自然のたより 68
三浦半島自然保護の会 1965，殺されたクジラ，自然のたより 66
三浦半島自然保護の会 1965，原始境だけが自然ではない，自然のたより 64
三浦半島自然保護の会 1965，総目次 No.1-60，自然のたより 61
三浦半島自然保護の会 1966，丹沢のシカ害の問題の教えるもの，自然のたより 85
三浦半島自然保護の会 1966，無意味な殺戮，自然のたより 84
三浦半島自然保護の会 1966，大学にConservationの講座を，自然のたより 83
三浦半島自然保護の会 1966，人害の防止について，自然のたより 78
三浦半島自然保護の会 1966，公害問題，自然のたより 77
三浦半島自然保護の会 1966，カモシカ密殺をめぐって，自然のたより 76
三浦半島自然保護の会 1967，宅造反対運動に思う，自然のたより 97
三浦半島自然保護の会 1967，オーバーコースへの対策を，自然のたより 95
三浦半島自然保護の会 1967，二つの「昆虫教室」，自然のたより 94
三浦半島自然保護の会 1967，自然利用の一試案，自然のたより 92
三浦半島自然保護の会 1967，野鳥の楽園のあり方，自然のたより 91
三浦半島自然保護の会 1967，自然保護に観光業者の努力を望む，自然のたより 90
三浦半島自然保護の会 1967，観光開発と受入れ態度，自然のたより 88
三浦半島自然保護の会 1967，野鳥飼育を無くそう，自然のたより 87
三浦半島自然保護の会 1967，ゴミを出さない心がまえ，自然のたより 86
三浦半島自然保護の会 1968，大学生の自然保護活動に望む，自然のたより 108
三浦半島自然保護の会 1968，最近の論考から --自然保護に関する--，自然のたより 104
三浦半島自然保護の会 1968，滅び去るか沿岸漁民，自然のたより 99
三浦半島自然保護の会 1968，相模湾総合開発計画に望む，自然のたより 98
三浦半島自然保護の会 1969，モータリゼイションと自然保護，自然のたより 121
三浦半島自然保護の会 1969，カスミ網猟をやめさせよう，自然のたより 120
三浦半島自然保護の会 1969，自然の劣化，自然のたより 119
三浦半島自然保護の会 1969，自然を無視する青年の家，自然のたより 118
三浦半島自然保護の会 1969，有害鳥獣駆除の方法，自然のたより 115
三浦半島自然保護の会 1969，緑化運動のもつ意義，自然のたより 114
三浦半島自然保護の会 1969，入漁規制は暴挙だろうか!!，自然のたより 113
三浦半島自然保護の会 1969，河川改修について，自然のたより 112
三浦半島自然保護の会 1970，公害を考えよう，自然のたより 134
三浦半島自然保護の会 1970，郊外の青少年の家に望む，自然のたより 132
三浦半島自然保護の会 1970，自然認識の欠除，自然のたより 131
三浦半島自然保護の会 1970，改訂高校カリキュラム案を見て，自然のたより 128
三浦半島自然保護の会 1970，生きた理科教育，自然のたより 125
三浦半島自然保護の会 1971，自然不在の自然保護運動，自然のたより 145
三浦半島自然保護の会 1971，観光の五悪，自然のたより 144
三浦半島自然保護の会 1971，物理的観光と生物的観光，自然のたより 142
三浦半島自然保護の会 1971，自然国をつくろう，自然のたより 141
三浦半島自然保護の会 1971，自然保護法制定へ，自然のたより 139
三浦半島自然保護の会 1971，用水池の再生保存を，自然のたより 138
三浦半島自然保護の会 1971，ムシヤを許すな，自然のたより 137

三浦半島自然保護の会 1971，全国自然保護団体会議から，自然のたより 136
三浦半島自然保護の会 1972，公害教育，自然のたより 157
三浦半島自然保護の会 1972，審議会のあり方について，自然のたより 156
三浦半島自然保護の会 1972，自然観察会はオアソビではない，自然のたより 154
三浦半島自然保護の会 1972，新しい破壊のパターン，自然のたより 152
三浦半島自然保護の会 1972，自然整備の問題点，自然のたより 151
三浦半島自然保護の会 1972，人間だけの地球じゃない，自然のたより 149
三浦半島自然保護の会 1972，自然保護の道しるべ --CO2とO2のこと--，自然のたより 153-154
三浦半島自然保護の会 1972，自然保護の道しるべ --緑のはたらき--，自然のたより 150-152
三浦半島自然保護の会 1972，自然保護の道しるべ --人口と食糧生産--，自然のたより 149
三浦半島自然保護の会 1973，終末への序曲，自然のたより 169
三浦半島自然保護の会 1973，アセスメント，自然のたより 168
三浦半島自然保護の会 1973，花ゲリラは望ましくない，自然のたより 165
三浦半島自然保護の会 1973，湾岸道路の建設に望む，自然のたより 162
三浦半島自然保護の会 1973，木を伐るな，自然のたより 161
三浦半島自然保護の会 1973，総目次 No.62-121，自然のたより 160
三浦半島自然保護の会 1973，自然公園の大型獣，自然のたより 158
三浦半島自然保護の会 1973，自然保護の道しるべ --食うくわれるの関係のこと--，自然のたより 157-158 161-162
三浦半島自然保護の会 1974，総目次 No.122-180、自然のたより 181
三浦半島自然保護の会 1974，もっと自然にふれるときのマナーを教えよう，自然のたより 177
三浦半島自然保護の会 1974，自然をもとめるときのマナー，自然のたより 176
三浦半島自然保護の会 1974，自然保護憲章制定国民会議に出席して，自然のたより 175
三浦半島自然保護の会 1974，自然保護反対，自然のたより 174
三浦半島自然保護の会 1974，過剰剪定，自然のたより 172
三浦半島自然保護の会 1974，河川工事を見直そう，自然のたより 171
三浦半島自然保護の会 1974，自然の加害者，自然のたより 170
三浦半島自然保護の会 1975，野生鳥獣の加害について，自然のたより 190
三浦半島自然保護の会 1975，うるおいの水辺を!!，自然のたより 187
三浦半島自然保護の会 1975，新産業にきびしい規制を!!，自然のたより 185
三浦半島自然保護の会 1975，今こそ自然保護のチャンス，自然のたより 182
三浦半島自然保護の会 1976，学校に自然園を作ろう，自然のたより 198
三浦半島自然保護の会 1976，巾広い自然指向を，自然のたより 197
三浦半島自然保護の会 1976，観察会のあり方，自然のたより 194
三重県自然科学研究会 ，宮川揚水発電計画に伴う父ケ谷地域自然環境調査報告書Ⅱ，
三重県自然科学研究会 1976，上野市南部都市開発に伴う自然環境調査及び影響評価報告書，
三上士郎 1962，自然保護と巣箱，私たちの自然 12:12-14
三上士郎 1962，野鳥の飼育追放へ，私たちの自然 13:2-4
御厨正治 1968，邦産イタチ関係文献集，鳥獣行政 14:27-28
三島冬嗣・東谷薫 1956，，鳥獣集報 16(1)
溝口敏男 1970，自然保護を考える，植物と自然 4(10):9
道家忠義 1972，環境問題における放射能の最大許容濃度，科学 42(12):682-687
光本政光 1976，木材需要の増大と自然保護問題，暖帯林 354:10-15
深泥池団体研究グループ 1974，深泥池 --氷河時代のレリックをさぐる--，国土と教育 24(4(6)):10

宮尾嶽雄 1974，筑摩山地南部の哺乳動物相と鳥獣保護区の，信州哺乳類研究会
宮尾嶽雄・土田勝義 1974，長野県の開発と自然破壊，公害研究 4(2): 12-24
宮尾獄雄・土田勝義 1974，長野県の観光開発と自然破壊，公害研究 4(2):12-24
宮崎一郎 1973，川崎の大気汚染 --自然破壊に実態をつく--，国土と教育 18(3(6)):24
宮沢茂夫 ，長野県における「自然保護と観光開発の調和はいかにあるべきか」についての答申，国立公園 :12-13
宮地伝三郎 ，桂川と三川合流以後の淀川におよぼす水質汚濁が漁業生物に及ぼす影響の実態調査，60
宮地伝三郎(天瀬ダム漁業補償生物調査班) 1961，天ケ瀬ダム建設にともなう漁業補償のための生物調査報告，近畿地方建設局天ケ瀬ダム工事事務所:1-34 4図版
宮村堅弥 1973，トキ，総合図書
宮本憲一 1976，瀬戸内海環境保全の国際調査を，瀬戸内海 創刊号:1(創刊によせて)
宮脇昭 ，公害から人間をどう救う --人間の生物的社会的生存権の回復--，週刊読売 臨時増刊 :109-114
宮脇昭 1966，自然保護の歴史と現状 V ヨ-ロッパの自然保護，自然保護 51:4-5
宮脇昭 1967，西ドイツの自然保護法，自然保護 65:2-3
宮脇昭 1970，自然保護の背景と現状 -- 生態学の責任 --，自然1970年7月号:66-69
宮脇昭 1970，背景と現状の責任，自然(1970) 7月号:67-69
宮脇昭・大場達夫・村瀬信義 1964，丹沢山魂の植生，丹沢・大山学術調査報告書:54-102
村上彰男 1971，瀬戸内海における産業と生物分布の変化，バイオテク 2:
村上和潔・直良信夫 1972，幻の原日本犬 --シマ山犬とその保護--，動物と自然 2(5/6):9-13
村上京一 1970，京都府の鳥獣行政，鳥獣行政 23:3-7
村上諦一 1969，わが国における銃砲規制の沿革 --取締法令の変遷を中心として--，鳥獣行政 1 :18
村瀬公美 1968，大阪北摂剣尾山の植物，植物と自然 2(3):33-34
村瀬公美 1968，大阪北摂剣尾山の植物，植物と自然 2(3):33-34
村瀬忠義 1972，伊吹山の植物 -- 植生・分布・保護問題 --，植物と自然 6(1):21-25
村田賢三 1968，自然を守るひとびと(2)箕面における植物保護，植物と自然 2(11):22-27
村本義雄 1972，能登のトキ，北国出版社
本谷勲 1964，河川の汚染と生物，生物科学 16:74-78
本谷勲・広井敏男 1972，産業エコロジーモデル批判，技術と人間
本谷勲・広井敏男・他 1976，(座談会) 東京にとって自然とは，国土と教育 37(6(7)):4
本橋敬之助 1974，海洋環境、汚染、人間，海洋科学 6(3):181-184
森主一 1964，自然 計画に鍛えられる生態学，日生態会誌 14(4): 170-171
森主一・川那部浩哉 ，びわ湖の自然とその保護，
森川国康 1963，愛媛県におけるカワウソの保護の問題，自然保護 29:7
(大阪府立) 守口高校生物クラブ 1973，淀川のウシガエル(淀川レポ-ト 3)奇形についての検討，Nature Study 19(7): 2-4
(大阪府立) 守口高校生物クラブ 1973，淀川のウシガエル(淀川レポ-ト 2)，Nature Study 19 (1):2-4
(大阪府立) 守口高校生物クラブ 1973，淀川中流中州のカモ(淀川レポート 4)，Nature Study 19(10):5-6(113-114)
森下郁子 1978，生物から見た日本の河川，山海堂 東京 193
森本忠三 1972，兵庫県の鳥獣行政，鳥獣行政 25-27:59-62
野猿編集部 1970，下北半島における除草剤散布をめぐって，野猿 32:1970

高井康雄 1971，人類の生存環境としての土壌，科学 41:605-611
八木正一 1976，淀川の自然を見つめつづけて，都市と自然 4:6-8
矢島稔 1972，後退する自然を追って --モンシロチョウの語るもの--，国土と教育 12(2(6)):21
八杉龍一 1964，人間の未来の問題，科学 34:447-449
安田外茂雄 1969，片野の鴨池，鳥獣行政 16:12-15
矢頭献一 1967，吉野熊野国立公園地域内大杉谷国有林の自然保護に関する調査報告，
矢頭献一 1971，三重県の自然 --自然保護の立場から　のあるところ--，自然保護　112:2-3
柳哲雄 1974，海洋環境問題に関して，海洋科学 6(3):185-186
柳沢紀夫 1973，よそ者は尊ぶべからず，私たちの自然 141:12
柳沢紀夫 1973，全国一斉のガンカモの類調査結果から，私たちの自然 141:13-14
矢野悟道 1971，兵庫県の植生と自然保護，兵庫県の自然(1):2-8
矢野悟道 1973，兵庫県の大幹線林道計画に反対する，兵庫県の自然 2(3):38-41
山県登・編著 1978，生物濃縮 -- 環境科学総編 --，産業図書
山口正信 1967，平林寺自然林とその保護，植物と自然 1(8):11-14
山下善平・梅林正直・武田明正・松浦誠 1977，市街地における社寺林と市街との間における環境の相互作用に関する研究第1報 津八幡宮林の林縁における，三重大環境科学研究紀要NO.2 :17-47
山階芳麿 1957，わが国鳥類保護の問題点，国立公園 3:10-11
山階芳麿 1960，私たちの自然 --発刊によせて--，私たちの自然 1:2
山階芳麿 1961，小鳥にエサをやる習慣，私たちの自然 2:10
山階芳麿 1961，愛鳥週間によせて，私たちの自然 4:10
山階芳麿 1962，禁鳥飼育から自然保護へ，私たちの自然 :1-2
山階芳麿 1962，父兄のための論説 --してはならない小鳥料理--，私たちの自然 8:10
山階芳麿 1966，緑化運動と野生鳥獣保護運動，私たちの自然 52:13
山階芳麿 1966，野鳥園の設置に反対する，私たちの自然 58:13
山階芳麿 1966，野生動物販売の流行をうれう，私たちの自然 59:6
山階芳麿 1966，大学に自然保護の講座を，私たちの自然 59:7
山階芳麿 1966，英国の新浜はどのように保存されたか(1)，私たちの自然 61:4-6
山階芳麿 1967，望ましくない違法行為，私たちの自然 63:2
山階芳麿 1967，英国の新浜はどのように保存されたか(2)，私たちの自然 63:3-5
山階芳麿 1967，英国王立鳥類保護協会の組織と活動，私たちの自然 65:3-4
山階芳麿 1970，狩猟鳥から貴重な種をのぞくことを望む，私たちの自然 107:2-3
山階芳麿 1970，公害と鳥，国立公園 8・9:6-9
山階芳麿 1973，世界の一流国らしい鳥類保護体勢の確立，私たちの自然 138:12
山階芳麿 1974，条約の次に来るべきもの，私たちの自然 150:12
山階芳麿 1974，国立特殊鳥獣人口繁殖施設の速やかな設置を望む，私たちの自然 146:12
山階芳麿・黒田長久 1958，独逸に於ける鳥類保護署の組織と活動，山階鳥研報 12:473-485
山添松之亮 1974，昭和48年度の民有地買い上げ，国立公園　294:9
山田篤 1973，森林資源の充実と今後の森林施業について -- 森林資源に関する基本計画から --，国立公園 282:11-14
山田信也 1971，金属資源の利用と環境汚染，科学 41:530-544
山田信夫 1972，鉛の人体蓄積とその調査上の問題，科学 42:132-138
山中二男 1969，石槌山地と保護の問題，自然保護 88:6-8
山本荘毅 1972，地下水の現状 3　大阪平野，アーバンクボタ 8:8-9
山本潔 1968，大学における教育・研究体制としての講座制の現状，日本の科学者 2(4): 30-38

山本建治 1977，農薬空中散布反対の運動とその経過，都市と自然 13:5-6
横山理子 1976，自然保護運動を問う --多摩川決壊の経験から--，国土と教育 37(6(7)):10
吉井正 1968?，自然と人間(Ⅲ)，私たちの自然
吉井正 1961，父兄のための論説 --狩猟法について--，私たちの自然 1:10
吉井正 1961，父兄のための論説 --正しい観光のあり方--，私たちの自然 3:10
吉井正 1961，父兄のための論説 --夏休みを迎えるにあたって--，私たちの自然 5:10
吉井正 1961，父兄のための論説 --科学教育振興と生命教育--，私たちの自然 6:10
吉井正 1961，父兄のための論説 --狩猟法から鳥獣保護法--，私たちの自然 7:10
吉井正 1962，野外観察について，私たちの自然(月報) 12:6-7
吉井正 1962，自然公園に野生鳥獣を，私たちの自然 12:11
吉井正 1963，休猟区制度について，私たちの自然 25:1-4
吉井正 1964，自然保護とは，私たちの自然 26:11
吉井正 1964，鳥獣保護区制度について，私たちの自然 27:1-3
吉井正 1964，鳥獣保護事業計画について，私たちの自然 31:1-4
吉井正 1964，生物教育関係者に望む，私たちの自然 32:11
吉井正 1964，法改正後の一年を省みて，私たちの自然 35:2-4
吉井正 1965，ダック・スタンプについて，私たちの自然 43:5-6
吉井正 1968，自然と人間(Ⅱ)，私たちの自然 83:5-7
吉井正 1968，自然と人間(Ⅰ)，私たちの自然 81:5-6
吉井正 1969，自然と人間(Ⅶ) --アメリカの自然保護について--，私たちの自然 95:7-10
吉井正 1969，自然と人間(Ⅵ) --アメリカの自然保護について--，私たちの自然 93:6-8
吉井正 1969，自然と人間(Ⅴ) --アメリカの自然保護について--，私たちの自然 91:5-7
吉井正 1969，自然と人間(Ⅳ) --アメリカの自然保護について--，私たちの自然 89:4-6
吉井正 1970，自然と人間(Ⅸ) --アメリカの自然保護について--，私たちの自然 103:7-9
吉井正 1970，自然と人間(Ⅷ) --アメリカの自然保護について--，私たちの自然 101:4-6
吉沢利忠 1971，剣ケ峰に立つ大山の自然，自然保護 113:12-13
吉沢道夫 1966，統計からみた狩猟免許者，鳥獣行政 5:6-9
吉田多摩夫 1976，海洋生物の重金属による汚染とその影響，海洋科学 8(12):806-812
吉田直敏 1971，オオミズナギドリの生態，動物と自然 1(9):18-21
吉田善宏 1978，緑化・防災の立場に立った行政改革を!，都市と自然 22:21-30
吉田嘉広 1971，カワシンジュガイの分布とその保護 --岐阜県を中心として--，動物と自然 1(11/12):2-6
吉目木三男 1954，薬剤撒布後の水田における昆虫群集の動態，日生態会誌 4:128-131
林野庁 1963，狩猟免許者の鳥獣捕獲の統計（1923-1960）1963年版 8 オスジカ,: 142-145
若月俊一 1967，食品に残留し人体に蓄積する農薬 --主として有機水銀剤について--，科学 37:153-162
和歌山市役所 1976，和歌山公園および岡公園の植生等報告書,: 69
渡辺一義 1971，富士山帯の野鳥 --その生態と盛衰--，動物と自然 1(8):8-11
渡辺直 1973，多様性指数による生物学的水質判定，用水と廃水 15:725-730
渡辺直・原田三郎・北村弘行・渡辺弘 1973，公共用水域における生物学的浄化機能に関する研究，兵庫県公害研究所報告 5:27-32
渡辺弘之 1969，芦生演習林の自然保護の問題点，自然保護 87:13-14
渡辺弘之 1971，京都府のカモシカ，動物と自然 1(10):9
渡辺弘之 1973，土壌動物の減少にみる自然の破壊度 原生林はなぜ保護しなければならないか，岳人 307:160-162

渡辺弘之・谷口直文・四手井綱英 1973，ツキノワグマの保護と森林への被害防除（ ），京大農学部演習林報告 45:1-8
ステナー・ハワード R（土屋徳之助抄訳）1961，原始地域についての解説，国立公園 142:4-5
ダ-リング、F・F・アイヒホ-ン、D・ノエル（糸賀訳）1969，国立公園における人間と自然 -- 政策に関する公案 II--，国立公園 239:9-10
ダ-リング、F・F・アイヒホ-ン、D・ノエル（糸賀訳）1969，国立公園における人間と自然 -- 政策に関する公案 I--，国立公園 237/8:8-11
フランクリン、J・F.（ 松下和男訳 ）1973，「自然研究地域」の紹介 その地域内で行われる試験研究が環境保全計画にどの様に貢献しているかについて，国立公園 281:2-8

対象行政地域別文献コードリスト

大阪府関係

東 集成 1972
市岡高校生物部魚班 1971
伊藤伝一 1978
猪坂剛也 1978
植野敏郎 1972
大石右正 1973
小椋勝 1971
梶山彦太郎・市原実 1973
木村英造 1972
吉良竜夫 1974
黒沢孝生 1977
黒沢孝生 1977
管原道夫 1972
瀬戸剛・ 豊原稔 1972
瀬戸剛・ 豊原稔 1972
泉南自然保護同好会・泉南市教育委員会1976
田口圭介 1978
筒井嘉隆 1971
筒井嘉隆 1973
筒井嘉隆 1973
筒井嘉隆 1975
土井林学振興会・緑地研究会 1974
新村捷介 1976
日本自然保護協会
原田直俊 1978
原田睦男 1978
兵庫県自然保護協会調査部 1972
枚方の自然を楽しむ会 1973
牧野修司・沢田正之・阿野裕美 1977
眞下弘 1970
宮地伝三郎
村瀬公美 1968
村瀬公美 1968
村田賢三 1968
（大阪府立）守口高校生物クラブ 1973
（大阪府立）守口高校生物クラブ 1973
（大阪府立）守口高校生物クラブ 1973
八木正一 1976
山本荘毅 1972

兵庫県関係

朝日 稔 1975
足立 勲 1974
天野重幸 1975
井上重省 1974
大西美鳥 1972
岡野錦弥 1971
岡野錦弥 1974
奥野博美 1972
岸田孝蔵 1974
高崎裕士 1978
中尾淳三 1976
中島秀雄 1976
西村登 1976
西村正昭 1974
日本自然保護協会 1963
日本自然保護協会 1967
長谷川太一 1975
兵庫県自然保護協会調査部 1972
兵庫県自然保護協会 1972
兵庫県自然保護協会調査部 1973
兵庫県自然保護協会調査部 1974
兵庫県自然保護協会調査部 1972
兵庫県農林部治山課 1976
平井源一 1975
町塚道夫 1972
森本忠三 1972
矢野悟道 1971
矢野悟道 1973

京都府関係

朝日 稔・四手井綱英・森 美保子 1975
京都府公害対策室 1974
昭和48年京都府鳥獣行政の概要 1973
昭和51年京都府鳥獣行政の概要 1976
土井林学振興回・緑地研究会 1977
日本自然保護協会 1963
桝井昭夫 1967
村上京一 1970
渡辺弘之 1971

滋賀県関係

吉良竜夫 1972
吉良竜夫 1973
国土と教育編集部 1972
滋賀県 1972
滋賀県 1972
滋賀県自然保護財団 1976
村瀬忠義 1972
森主一・川那部浩哉

三重県関係

大阪営林局
熊野路編纂委員会編 1975
多田雄一 1971
日本自然保護協会 1965
日本自然保護協会 1968
日本自然保護協会 1977
日本自然保護協会関西支部 1974
三重県自然科学研究会
三重県自然科学研究会 1976
矢頭献一 1967
矢頭献一 1971
山下善平・梅林正直・武田明正・松浦誠 1977

奈良県関係

春日顕彰会 1975
春日顕彰会 1977
亀山章・井手久登 1772
後藤 伸 1971
土井林学振興会・緑地研究会 1974
日本自然保護協会 1964
日本自然保護協会 1977
日本自然保護協会関西支部 1974
日浦 勇 1977
日浦 勇 1977
真砂久哉 1971

和歌山県関係

後藤 伸 1971
土井林学振興会・緑地研究会 1974
日本自然保護協会
日本自然保護協会 1966
日本自然保護協会 1966
日本自然保護協会 1971
日本自然保護協会 1977
日本自然保護協会関西支部 1974
真砂久哉 1970
真砂久哉 1971
和歌山市役所 1976

対象典型地域別文献コードリスト

淀川

東 集成 1972
市岡高校生物部魚班 1971
大石右正 1973
小椋勝 1971
木村英造 1972
（大阪府立）守口高校生物クラブ 1973
（大阪府立）守口高校生物クラブ 1973
（大阪府立）守口高校生物クラブ 1973
管原道夫 1972
筒井嘉隆 1973
筒井嘉隆 1973
筒井嘉隆 1975
枚方の自然を楽しむ会 1973
宮地伝三郎
八木正一 1976